

LB FileLock 2

使用方法について

『LB FileLock2』のプログラムは、著作権法で保護された著作物であり、その全部あるいは一部を株式会社エスコンピュータの事前の明示的な許可なく複製したり、転送したり、格納したり、他のコンピュータ用に変換したり、あるいは他の言語に翻訳したりすると、著作権の侵害になります。

『LB FileLock2』は、株式会社ライフポートの商標です。
Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
その他の商標は、それぞれ該当する会社が所有する商標です。

LB FileLock2 の概要

『LB FileLock2』は、ファイルやフォルダを手軽に暗号化することができるソフトウェアです。暗号化、復号化はドラッグ＆ドロップの簡単な操作で実行でき、データの機密性を確保します。

注意事項

このバージョンの『LB FileLock2』は、イメーション社製の USB Flash Drive 上からのみ使用することができます。

『LB FileLock2』のプログラムを他のメディアにコピーや移動した場合、使用することはできません。

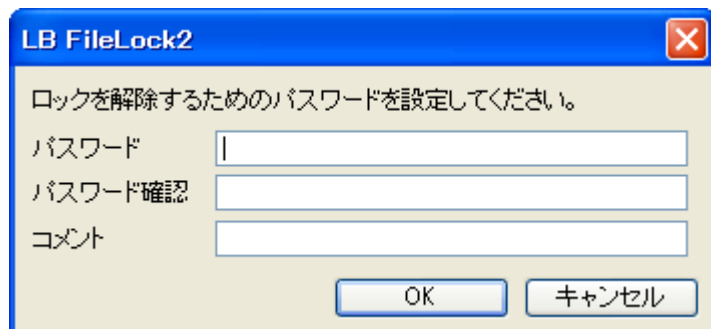
『LB FileLock2』の使用方法について

ファイル / フォルダの暗号化

1. 暗号化したいファイル / フォルダを『LB FileLock2』のアプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップします。



2. パスワードの入力画面が表示されるのでパスワードを入力して「OK」をクリックします。



「コメント」にはユーザ本人だけが分かるパスワードのヒントを入力しておく便利です。

暗号化したファイル / フォルダはファイル拡張子「.lock」形式のファイルとして「LB FileLock2.exe」が存在するフォルダに出力されます(初期設定)。

例:

元のファイル / フォルダ名	暗号化したファイル名
test.txt	test.txt.lock
test.exe	test.exe.lock
¥test (フォルダ)	test.lock

ファイルを暗号化すると、ファイル名の最後に「.lock」が追加されます。フォルダを暗号化の場合は「<暗号化前のフォルダ名>.lock」となります。

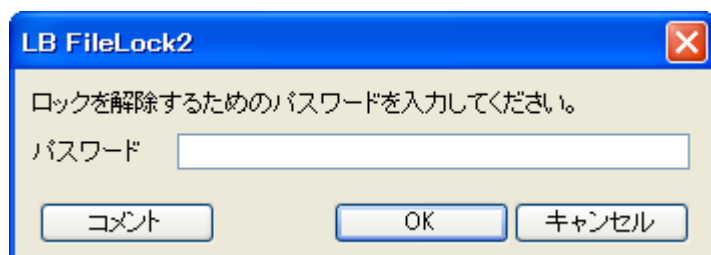
ファイル / フォルダの復号化

復号化の方法

1. 『LB FileLock2』で暗号化したファイル *.lock を『LB FileLock2』のアプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップします。



2. パスワードの入力画面が表示されるのでパスワードを入力して「OK」をクリックします。



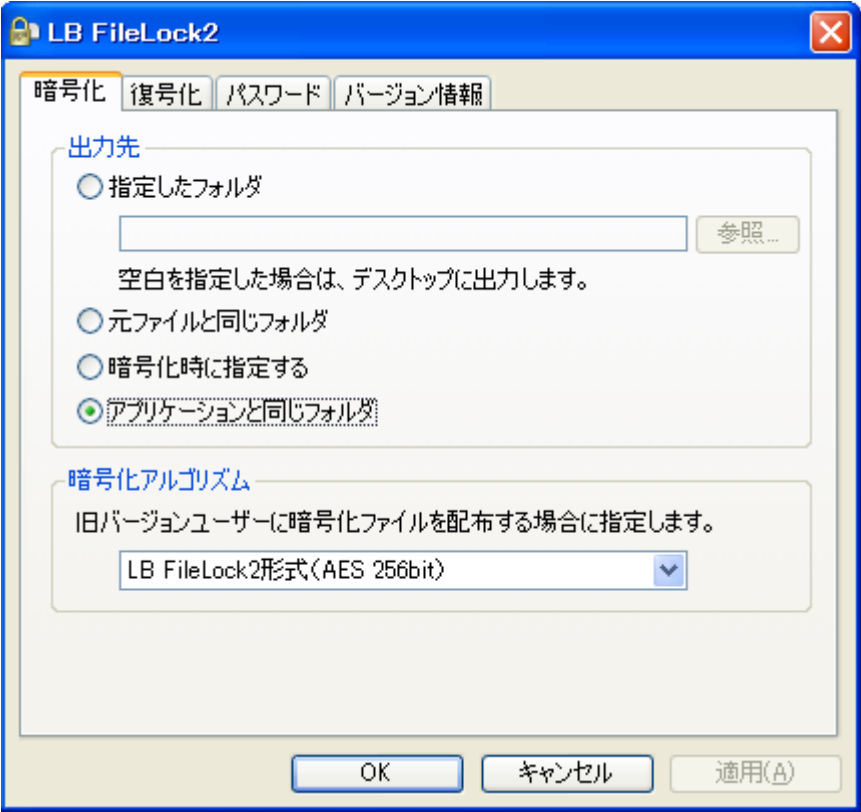
復号化したファイル / フォルダはデスクトップに出力されます (初期設定)。

LB FileLock2 の設定変更について

暗号化、復号化の設定はアプリケーションを起動して変更することができます。「アプリケーション」は、イメーション社製 Flash Drive 内から「LB FileLock2.exe」のアイコンをダブルクリックして起動します。

< 暗号化 >

暗号化したファイルの出力先の設定をします。

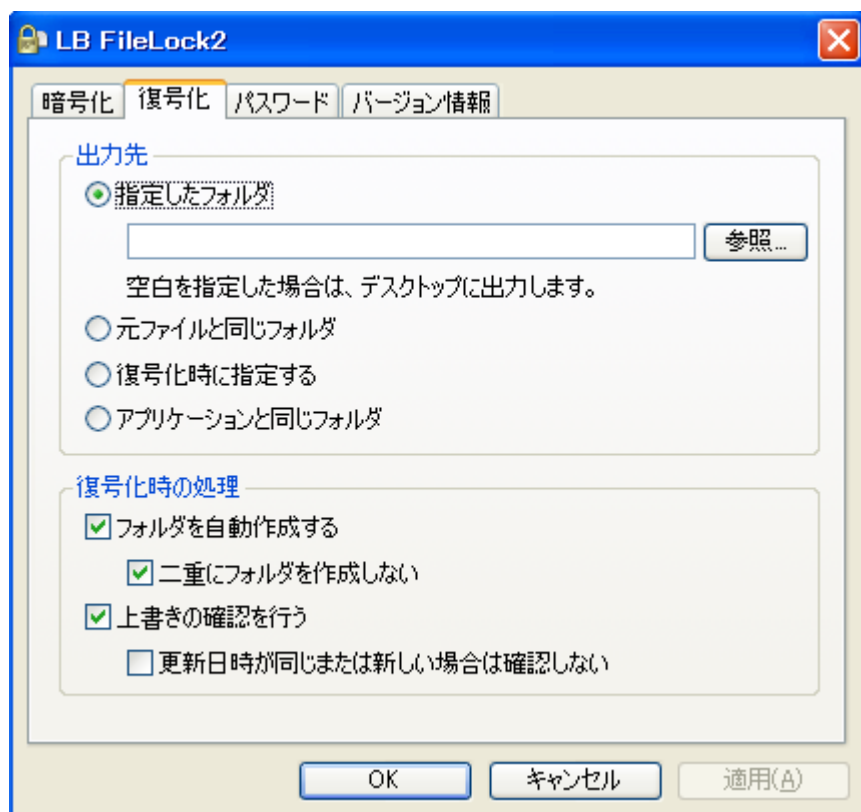


画面の説明

出力先	
指定したフォルダ	「参照」をクリックして暗号化したファイルの出力先を指定します。
元ファイルと同じフォルダ	暗号化する前のファイル / フォルダが存在するフォルダに暗号化したファイルを出力します。
暗号化時に指定する	ファイルをアプリケーションアイコンにドラッグ＆ドロップした時に出力先を指定するウィンドウが表示されます。
アプリケーションと同じフォルダ (初期設定)	「LB FileLock2.exe」が存在するフォルダに暗号化したファイルを出力します。
暗号化アルゴリズム	
旧バージョンユーザーに暗号化ファイルを配布する場合に指定します。	「キチットと秘密ファイルロック」と互換性のある暗号化したファイルを出力します。 標準設定では、LB FileLock2形式 (AES 256bit) でファイルが出力されます。

< 復号化 >

復号化時の設定をします。復号化するファイル / フォルダの出力先、復号時の処理を設定します。



画面の説明

出力先	
指定したフォルダ	「参照」をクリックして復号化するファイル / フォルダの出力先を選択します (初期設定は「デスクトップ」です)。
元ファイルと同じフォルダ	暗号化されたファイルが存在するフォルダに復号化するファイル / フォルダを出力します。
復号化時に指定する	ファイルをアプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップした時に復号化するファイル / フォルダの出力先を指定します。
アプリケーションと同じフォルダ	「LB FileLock2.exe」が存在するフォルダに復号化するファイル / フォルダを出力します。
復号化時の処理	
フォルダを自動作成する	復号化時にフォルダを自動作成して復号化するファイル / フォルダを格納します。
二重にフォルダを作成しない	フォルダを二重に作成しません。
上書きの確認を行う	復号化するファイル / フォルダの出力先に既に同じ名前のファイル / フォルダが存在する場合、上書きの確認メッセージを表示します。
更新日時が同じまたは新しい場合は確認しない	復号化するファイル / フォルダの更新日時が同じまたは新しい場合は上書きの確認メッセージを出力せずそのまま上書きします。

<パスワード>

パスワードに関する設定をします。アプリケーションの起動時にパスワード入力を求めるように設定することができます。

The screenshot shows the 'LB FileLock2' application window with the 'パスワード' (Password) tab selected. The dialog box contains the following elements:

- Tab bar: 暗号化 (Encryption), 復号化 (Decryption), **パスワード** (Password), バージョン情報 (Version Information).
- Section header: パスワード (Password).
- Checkboxes:
 - ☐ このアプリケーションを開く時にパスワードを求める (Require password when opening this application).
 - ☐ 暗号化のパスワードにも利用する (Also use for encryption password).
- Text input fields:
 - パスワード (Password)
 - パスワード確認 (Password Confirmation)
 - コメント (Comment)
- Buttons at the bottom: OK, キャンセル (Cancel), 適用(A) (Apply).

画面の説明

パスワード	
このアプリケーションを開く時にパスワードを求める	起動時にパスワードの入力が必要となります。
暗号化のパスワードにも利用する	暗号化のパスワードを予め指定します(暗号化時のパスワード入力画面が表示されなくなります)。
パスワード	使用するパスワードを入力します。パスワードは1～63文字までの英数字、記号、空白を含む半角文字(半角カナを除く)を指定することが可能です。
パスワード確認	パスワードを再入力して、設定したパスワードに間違いがないことを確認します。
コメント	パスワードのヒント等を入力します。